

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
満期保有目的の債券の期末評価については、償却原価法（定額法）を採用しております。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
総平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定）を採用しております。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
  - ① 固定資産（リース資産を除く）は、法人税法で規定する定額法を採用しております。
  - ② 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産は、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。なお、主なリース資産の内容は、OA機器であります。
- (4) 引当金の計上基準
  - ① 貸倒引当金は、債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については過去の貸倒実績をもとに算出した貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。
  - ② 賞与引当金は、職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上しております。
  - ③ 退職給付引当金は、職員の退職給付に備えるため、退職手当の当期末支給額を計上しております。
- (5) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲  
現金及び現金同等物を含めております。
- (6) 消費税等の会計処理  
税込方式によっております。
- (7) 税効果会計の適用について  
税引前の当期正味財産増減額と法人税、住民税及び事業税の金額を合理的に期間対応させ、より適正な当期正味財産増減額を計上することを目的として税効果会計を適用しております。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりであります。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
土地	93,780,434	-	-	93,780,434
退職給付引当資産	52,955,933	2,540,976	-	55,496,909
会館設備更新引当資産	1,653,712,704	439,746,195	-	2,093,458,899
修繕引当資産	174,746,195	-	174,746,195	-
預り金返還引当資産	110,036,300	-	-	110,036,300
大学院生奨励引当資産	20,000,000	-	20,000,000	-
合 計	2,105,231,566	442,287,171	194,746,195	2,352,772,542

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりであります。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
土地	93,780,434	( 93,780,434)	( -)	( -)
退職給付引当資産	55,496,909	( -)	( -)	( 55,496,909)
会館設備更新引当資産	2,093,458,899	( -)	(2,093,458,899)	( -)
預り金返還引当資産	110,036,300	( -)	( -)	( 110,036,300)
合 計	2,352,772,542	( 93,780,434)	(2,093,458,899)	( 165,533,209)

4. 補助金等の内訳ならびに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳ならびに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりであります。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
会議開催費助成	公益財団法人サントリー生命科学財団		50,000	50,000		
第29回助成	公益財団法人伊藤医薬学術交流財団		450,000	450,000		
2022年度 研究者招聘助成	公益財団法人持田記念医学薬学振興財団		500,000	500,000		
第28回助成	公益財団法人伊藤医薬学術交流財団		300,000	300,000		
2022年度国際交流助成金	公益財団法人テルモ生命科学振興財団		500,000	500,000		
第54回 内藤記念海外学者招聘助成金	公益財団法人内藤記念科学振興財団		600,000	600,000		
2022年度後半期 海外招聘補助金	公益財団法人中外創薬科学財団		350,000	350,000		
助成金	公益財団法人永井記念薬学国際交流財団		400,000	400,000		
国際交流助成金	公益財団法人テルモ生命科学振興財団		500,000	500,000		
学会等開催助成	公益財団法人大幸財団		130,000	130,000		
学会助成	学校法人愛知学院大学		132,933	132,933		
学会助成	広島県薬剤師研修協議会		100,000	100,000		
学会助成金	一般財団法人緑風会		100,000	100,000		
補助金	広島市健康福祉局		70,000	70,000		
コンベンション開催事業助成金	岐阜観光コンベンション協会		140,000	140,000		
イベント・コンベンション誘致推進事業費補助金	岐阜県		465,000	465,000		
助成	公益財団法人十六地域振興財団		500,000	500,000		
学会等開催助成	公益財団法人大幸財団		230,000	230,000		
学術集会助成	公益財団法人サントリー生命科学財団		50,000	50,000		
学術的な会議助成	一般財団法人楽山会		50,000	50,000		
コンベンション開催助成金	一般財団法人山形コンベンションビューロー		100,000	100,000		
コンベンション開催助成金	一般財団法人山形コンベンションビューロー		1,420,750	1,420,750		
令和5年度医学研究会・研修会開催助成金	公益財団法人信州医学振興会		60,000	60,000		
松本市コンベンション開催促進事業補助金	松本市		167,000	167,000		
助成金	日本生命科学アカデミー		100,000	100,000		
合 計			7,465,683	7,465,683		

5. キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲及び重要な非資金取引

(1) 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている金額との関係は、次のとおりであります。  
(単位：円)

	前期末	当期末
現金及び預金	652,692,958	621,140,434
建物管理預金	-391,216,749	-339,732,473
現金及び現金同等物	261,476,209	281,407,961

6. その他

(1) 退職給付関係

①採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けております。

②退職給付債務及びその内訳

(単位：円)

退職給付債務	-55,496,909
退職給付引当金	-55,496,909

③退職給付費用に関する事項

(単位：円)

勤務費用	-4,950,743
退職給付費用	-4,950,743

④退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算しております。

(2) 税効果会計関係

繰延税金資産の主な原因別の内訳は、次のとおりであります。

(単位：円)

区分	金額
(固定)	
退職給付引当金	4,678,457
未払事業税	2,001,937
その他	433,885
計	7,114,279
評価性引当額	-
合計	7,114,279

(3) 賃貸等不動産に関する注記

① 賃貸等不動産に関する事項

当法人では、その所在地において、賃貸用のオフィスビル（土地を含む）を有しております。

② 賃貸等不動産の時価に関する事項

(単位：円)

貸借対照表計上額	時価
1,626,439,976	4,855,681,362

(注1) 貸借対照表計上額は、取得価額から減価償却累計額を控除しております。

(注2) 当期末の時価欄に記載の金額は、固定資産税評価額にもとづいております。

(4) 金融商品に関する注記

① 金融商品に対する取組方針

当法人の資金運用は、金融機関への定期預金のみであり、元本の償還については僅少なリスクしか負わないものに限定して行っております。

② 金融商品の内容及びそのリスク

定期預金で運用を行っている特定資産には金利変動リスク等が存在しております。

③ 金融商品のリスクに係る管理体制

・ 特定資産の運用内規に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の特定資産の運用内規に基づき行っております。

・ 信用リスクの管理

預金については、発行体、金融機関の状況を定期的に把握しております。

・ 市場リスクの管理

預金については、定期的に把握しております。

(5) 資産除去債務に関する注記

① 資産除去債務の内容についての説明

当年度において当法人が所有する長井記念館の建材にアスベストが使用されていることが判明したため、建物解体時に見込まれる当該物質除去費用を資産除去債務として計上しております。

② 支出発生までの見込期間、適用した割引率等の前提条件

支出発生までの見込期間を21年、割引率を0.243%として資産除去債務の金額を算定しております。

③ 資産除去債務の総額の期中における増減内容

(単位：円)

期首残高	159,637,169 円
時の経過による調整額	387,918 円
期末残高	160,025,087 円

## 附属明細書

1. 基本財産および特定資産の明細  
財務諸表に対する注記2.に記載しております。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
貸倒引当金	7,777,082	0	7,777,082		0
賞与引当金	2,966,556	8,328,209	7,847,485		3,447,280
退職給付引当金	52,955,933	4,950,743	2,409,767		55,496,909